

臨床工学部

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 岡本 賢二郎(腎糖尿病センター長、臨床工学部長)
- 鶴本 創(総務医事課主幹);臨床工学部次長
- 久枝 正実(担当係長)
- ＜透析室係＞
- 鍋谷 里奈、谷口 亜弓、河野 大輝、桑尾 芽依、西村 彩香、金谷 有花、秋田 源輝
- ＜手術部・ICU 係＞
- 西田 美徳、益田 夏季、湯岑 葵、築山 信哉、清水 夢奈、羽藤 琢登
- ＜心臓カテーテル室係＞
- 一色 翼、天野 雄司、大久保 祐紀、河野 洋輝、村上 莉沙、坂東 利紗、真鍋 涼
- 会計年度任用職員:6名
- CE 補助スタッフ:5名

2. 認定資格取得(2025年3月時点)

資格名	資格取得者
医療機器センター透析技術認定士	西田美徳、谷口亜弓、鍋谷里奈、河野洋輝
日本体外循環技術医学会体外循環技術認定士	久枝正実、天野雄司、西田美徳、一色翼、益田夏季
医療機器センター3学会合同呼吸療法認定士	天野雄司、河野洋輝、湯岑葵、谷口亜弓
日本麻酔科学会周術期管理チーム臨床工学技士	天野雄司
日本心血管インターベンション治療学会ITE 心血管インターベンション技師	一色翼、河野洋輝
透析技能検定1級	谷口亜弓
日本不整脈心電学会心電図検定1級	一色翼
日本不整脈心電学会心電図検定2級	大久保祐紀、河野大輝
日本科学技術連盟 QC サークル指導士	天野雄司
日本不整脈心電学会植込み型心臓不整脈デバイス認定士	一色翼、村上莉沙
日本アフエレス学会認定技士	谷口亜弓

3. 運営方針

- (1) 業務を安全・確実に行う
生命維持管理装置の操作および保守点検を確実に行い、専門技術者であることを認識し、最善の努力を払って業務を遂行します。
- (2) 医療機器管理業務を充実させる
医療機器の中央管理業務を推進し、保守管理業務を行い、故障時に迅速な対応をするために、院内で補修できるように努めます。
- (3) チーム医療に積極的に参加する
医師をはじめ看護師、その他の医療関係職種と緊密に連携し、医療チームの一員として、質の高い医療を確保することに努めます。
- (4) 院内外への情報発信と教育を充実させる
ホームページコンテンツを充実させ、医療機器に必要な情報を

発信するとともに、定期的に研修会を開催・受講し、スキルアップを図ります。

4. 実績

(1) 医療機器管理業務

- 中央管理機器貸出および返却回数
 - ・ 貸出:31,414回
 - ・ 返却:30,807回

■ 各機器保守点検台数

	技士保守 点検台数	メーカー保守 点検台数
輸液ポンプ	14,706	0
シリンジポンプ	9,502	0
人工呼吸器	874	27
除細動器	399	0
低圧持続吸引器	694	0
IABP	32	2
電気メス	24	0
PCPS	41	4
ドリップアイ	2,367	0
フットポンプ	133	0

■ 中央管理機器保有台数

中央管理機器	台数
輸液ポンプ	473
低圧持続吸引器	34
シリンジポンプ	446
経腸栄養ポンプ	11
ドリップアイ	55
フットポンプ	125

(2) 手術室業務

■ 手術室対応業務件数

手術室業務	2023	2024
ナビゲーション業務	230	226
手術支援ロボット業務	398	448
自己血回収装置操作業務	24	29
神経モニタリング(脳外・整形)	110	72
TAVI(経皮的大動脈弁置換術)	111	111

■ 心臓血管外科手術業務件数

人工心肺関連業務	2023	2024
人工心肺手術総数	137	133
うち緊急手術	32	25
Off-Pump CABG	41	34

(3) 心臓カテーテル室業務

冠動脈狭窄の程度を評価する定量的流量比(QFR)が導入されました。

■ 心臓カテーテル室対応件数

	2023	2024
心臓カテーテル室対応総件数	1,054	1,270
うち PCI	337	369
うちデバイス挿入・交換	109	153
うちリード拔去	2	1
うちアブレーション業務	182	179
うち頸動脈ステント留置術(CAS)	11	7
うち PTA	71	116
ペースメーカー外来	937	1,023
遠隔モニタリング	412	487

(4) 透析室、ICU における血液浄化関連業務

11 月に透析装置一式(コンソール、RO 装置、透析液溶解装置等)が新しくなりました。

透析室業務:透析用水水質検査(1 回/週)

■ 血液浄化関連業務件数

治療法	2023	2024
CHDF	159	83
HD	3,228	3,706
On Line HDF	9,100	7,516
PE	36	69
DFPP	11	20
PMX	2	0
腹水濾過濃縮	4	0
GCAP	19	15
末梢血幹細胞採取	19	8
骨髓濃縮	2	0
レオカーナ	44	8

■ 研修会・講習会開催

開催日	内容	対象	参加
1 月 11 日	PCA ポンプ勉強会	9 階東病棟看護師	16 名
2 月 8 日	新規採用看護職員第 3 期研修(曝露)	新人看護師	41 名
3 月 13 日	フットポンプ(Flowtron ACS900)勉強会	9 階東 6 階西病棟看護師	6 名
4 月 4 日	1 年次研修医オリエンテーション	研修医	22 名
4 月 25 日	除細動器(X Series)勉強会	臨床工学技士、メディエス	12 名
5 月 10 日	人工呼吸器(SERVO-V)操作説明会	臨床工学技士	11 名
5 月 13 日	人工呼吸器(SERVO-V)操作説明会	臨床工学技士	5 名
5 月 28 日	術中ナビゲーションシステム研修会	臨床工学技士	4 名
5 月 28 日	エア・シール操作説明会	臨床工学技士	7 名
6 月 18 日	IABP コンソール(ZUIRYU)勉強会	臨床工学技士	11 名
7 月 11 日	新規採用看護職員研修(輸液ポンプ)	新人看護師	68 名
10 月 29 日	医療安全トピックス研修会	病院スタッフ	49 名
11 月 18 日	透析用監視装置(DCS-200Si)勉強会	臨床工学技士	16 名
11 月 20 日	透析用監視装置(DCS-200Si)勉強会	臨床工学技士	9 名

5. 2025 年度目標

- 医療機器の取り扱いを安全・確実に行います。
 - 方法:定期的な研修会・勉強会を開催します。
年度初めに研修会・勉強会スケジュールを作成します。
 - 対象者:臨床工学技士、看護師、医師、病院スタッフ
- 業務の手技・運用方法の効率化を検討します。
 - 方法:手技および運用方法を再検討し、業務の効率化を図ります。
- 医師・看護師業務のタスクシフト/シェアを検討します。
 - 方法:運営委員会や検討会等で協議していきます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 村上莉沙、天野雄司、一色翼、河野大輝、久枝正実、当院における Web 会議システムを用いた着型型自動除細動器導入指導の検討。日本不整脈心電学会第 17 回植込みデバイス関連冬季大会。福岡 (2025.2.21)
- 一色翼、天野雄司、久枝正実。心筋保護液注入中に大動脈解離した症例経験の 1 例。第 35 回日本体外循環技術医学会四国地方大会。徳島 (2024.6.29-30)
- 一色翼。長期化する ECPPELLA 管理後に IMPELLA5.5 へアップグレードした症例経験の 1 例。第 30 回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)中国四国地方会。岡山 (2024.9.7-8)
- 西田美穂、湯岑葵、益田夏季、天野雄司、久枝正実、NO 吸入療法における safety zone の検証。第 14 回中四国臨床工学会。松山 (2024.9.21-22)
- 村上莉沙、谷口亜弓、鍋谷里奈、河野大輝、桑尾芽依、西村彩香、金谷有花、久枝正実、村上太一。レオカーナを用いて吸着式潰瘍治療法を施行した 1 例。第 14 回中四国臨床工学会。松山 (2024.9.21-22)
- 一色翼、天野雄司、村上莉沙、河野大輝、久枝正実。デバイス植込み業務単独化へ挑戦。成果と課題。第 14 回中四国臨床工学会。愛媛 (2024.9.21-22)
- 河野大輝、谷口亜弓、一色翼、久枝正実。血幹細胞採取施行後、CD34 陽性細胞採取量が低値であった症例。第 14 回中四国臨床工学会。松山 (2024.9.21-22)
- 湯岑葵、高橋成実、金谷有花、桑尾芽依、河野洋輝、谷口亜弓、鍋谷里奈、久枝正実。透析室でのエコーを使用した穿刺の取り組み。第 60 回愛媛県立病院学会。愛媛 (2024.11.16)
- 金谷有花、村上莉沙、鍋谷里奈。寛解維持目的の GMA 療法での経験。第 60 回愛媛県立病院学会。愛媛 (2024.11.16)
- 西村彩香、鍋谷里奈、村上莉沙、桑尾芽依、谷口亜弓。血漿交換中目詰まりにより遠心分離器を用いて施行した症例。第 60 回愛媛県立病院学会。愛媛 (2024.11.16)
- 坂東利紗、一色翼、天野雄司、久枝正実。脂質性プラークに対して DCA を施行した一例。第 60 回愛媛県立病院学会。愛媛 (2024.11.16)